

総務文教常任委員会
資料

平成31年3月4日

総務財政部

1 管財課

- (1) 公共広場整備（災害対応型）工事について・・・・・・・・・・ 1 ページ

公共広場整備（災害時対応型）工事について

1 目 的 普段は多目的広場として、災害時には避難所や救援物資等の集積拠点として活用する。

2 施設概要等

(1) 面 積 約9,900m²

内訳 多目的広場 約5,600m²

進入路駐車場 約2,200m²

法面水路等 約2,100m²

(2) 多目的広場の整備概要

散 策 道 L=290m、W=2.0m

簡易トイレ 5基(内1基はバリアフリー対応型)

かまどベンチ 4台

ソーラー灯 11基

手足洗い場 1箇所

3 工事の進捗状況について（予算額 150,000千円）

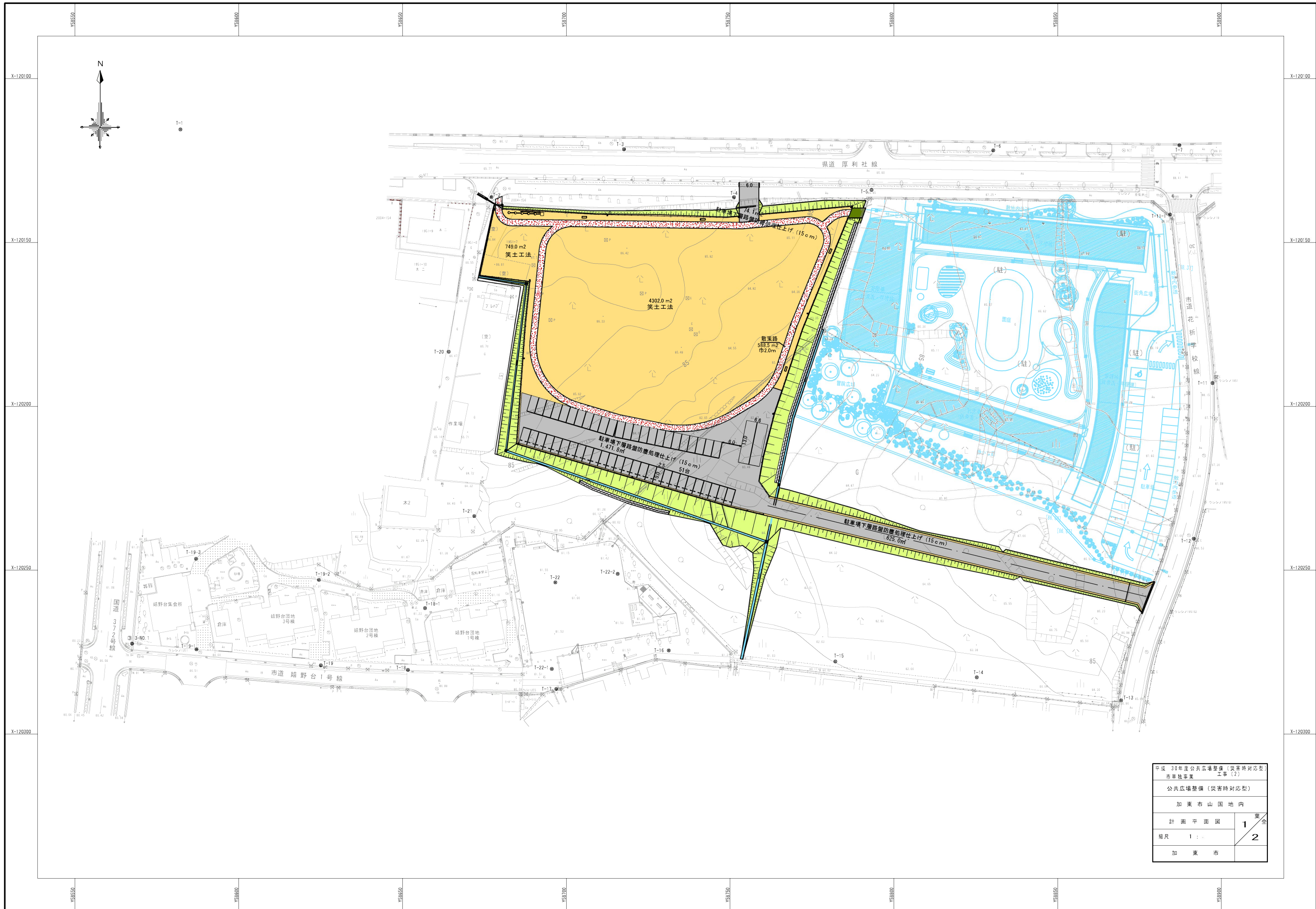
工 事 名	内 容	工 期	契約額	契約の相手方
平成30年度市単独事業公共広場整備(災害時対応型)工事(1)	高木伐採・除根 整地、水路整備	H30.5.31～ H31.3.25 (H31.1.25)	(78,074,280) 78,003,000	(株)岩崎建設
平成30年度市単独事業公共広場整備(災害時対応型)工事(2)	施設仕上げ工事	～H31.8.31	—	—

4 仕上げ工事について

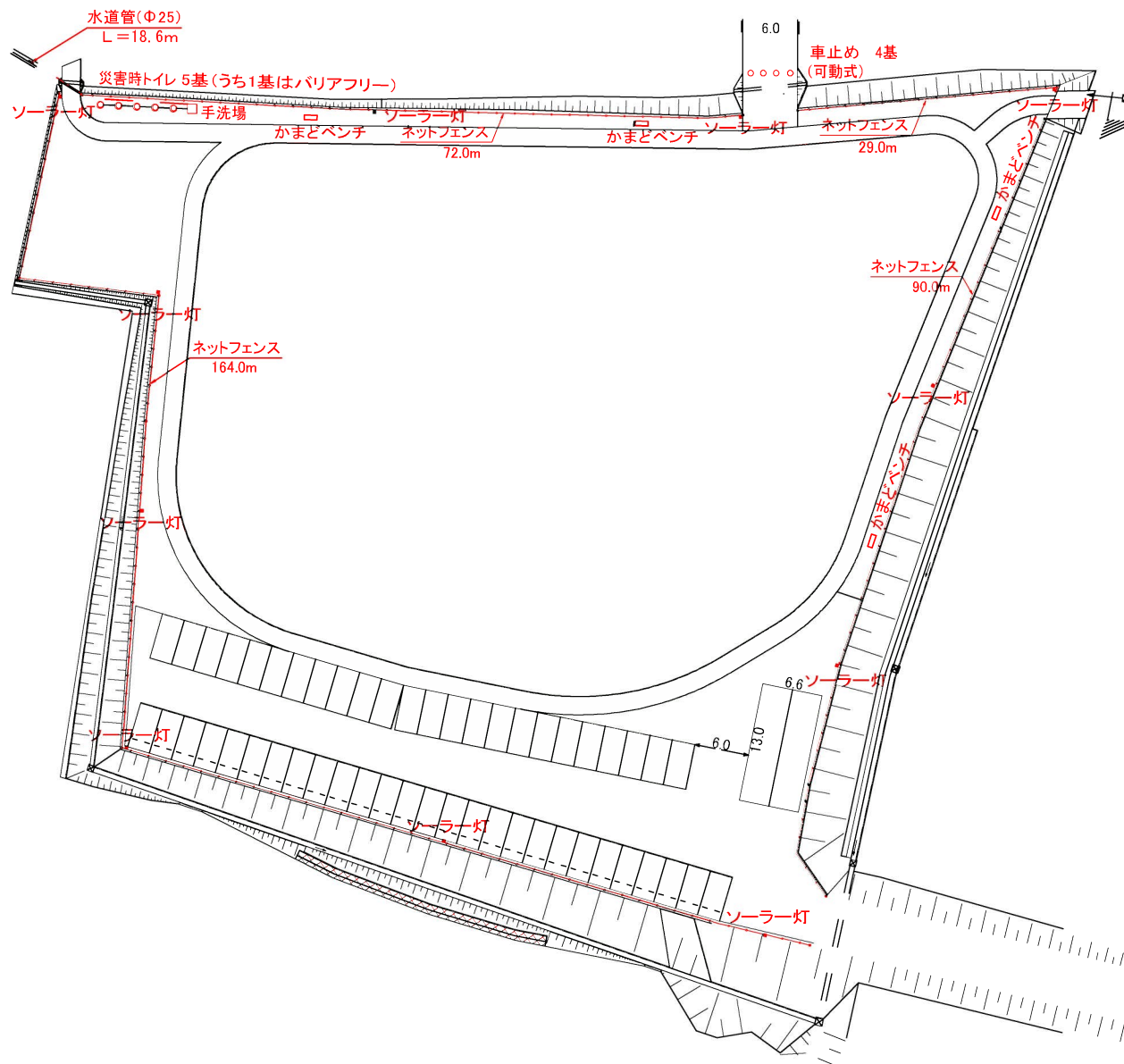
(1) 設置する構造物については、別紙構造物位置図のとおり。

(2) 多目的広場の表層は、真砂土で仕上げる予定としていましたが、砂埃や雑草を抑えるため笑土工法を採用する。

(3) 進入路及び駐車場については、盛土高が最大で4.0m以上となっており、地盤が下がることが想定されることから、アスファルト舗装はせず、下層路盤工(碎石)を防塵(乳剤散布)処理により仕上げ、平成32年度に舗装工事を実施する。



平成 30年度公共広場整備（災害時対応型） 市単独事業 工事（2）	
公共広場整備（災害時対応型）	
加東市山国地内	
計画平面図	1
縮尺 1 : 1	2
加東市	



平成 30年度 公共広場整備 (災害時対応型) 市単独事業 工事 (2)	
公共広場整備 (災害時対応型)	
加 東 市 山 国 地 内	
構 造 物 位 置 図	2 / 全
縮 尺 1 :	2
加 東 市	

笑土工法について



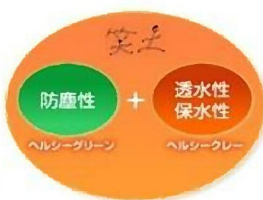
防塵対策もかねた透水性保水性土舗装工法。
22世紀を見据えた最上級のグラウンド改良です。

・笑土工法の特長

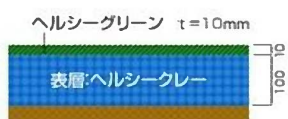
・導入事例



「笑土」（わらど）工法は、ヘルシーグリーンの表層処理および表層保護としてヘルシーグリーンを組み合わせた土質改良工法です。自然の土を主材料として改良するヘルシーグリーンの劣化をヘルシーグリーンで補うため、学校グラウンド等の激しい動きへの対応がより充実したものとなりました。従来の土に透水性の高い物質を混入するのと違い、土の構造を変えるという工法は、使用者の皆様へ安心感を与え御好評をいただいております。グラウンド、園庭、公園園路などをお使いの皆様を「笑顔にさせる土」という願いを込めて、「笑土（わらど）」と名づけました。



施工断面図



施工の様子

① ヘルシーグレイで土を改良



② 表層をヘルシーグリーンで保護



クレイグラウンド改良



保育・幼稚園園庭



透水性が改良され、**機能性が向上**することで降雨後の**水溜りの発生を抑えます**。

保水性があるため、通常のクレイ舗装と比べ、**砂ぼこりが立ちにくい**ため快適です。

表層に保水した水の蒸発時に、**気化熱の冷却効果**により地表面の**温度上昇を抑える**効果が期待できます。

団粒構造を長期間保持することができ、降雨後も舗装材の硬度変化が少なく、**泥濘化を低減**します。

現地発生土(砂質系の土)を利用した**リサイクル**が可能で、環境に対する負荷を軽減します。

(※土質により再利用できない場合があります。)



笑土(わらど)ができるまで

